

活動は声かけから

ガイドヘルプ 介助の手引

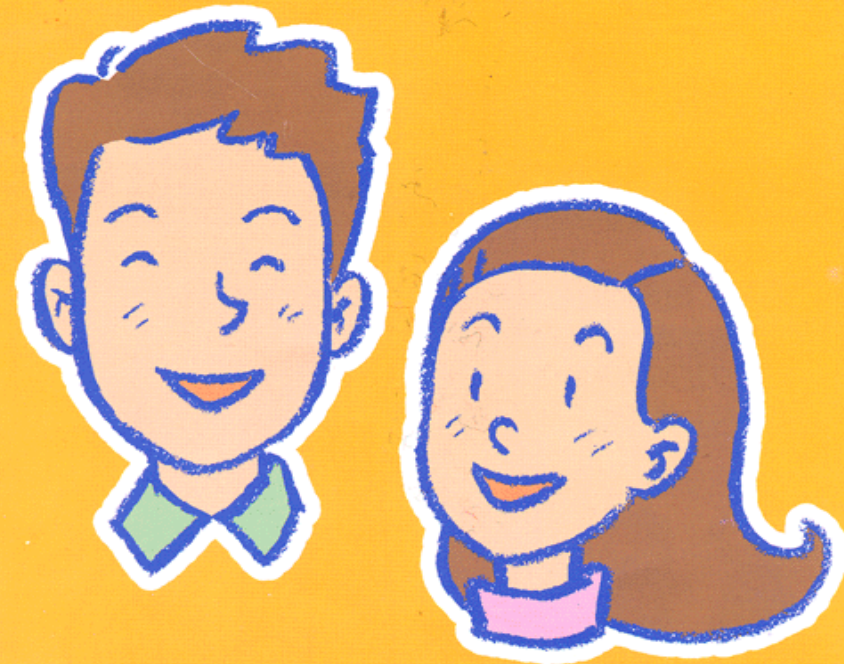
GUIDE
HELP

～視覚障害者のパートナー～

ボランティア活動は
だれでも
いつでも
どこでも
気軽に楽しく
できる活動です。



家庭で…ロータスクーポン収集、点訳・朗読
地域で…訪問、清掃、点検
施設で…学校行事招待、お便り活動、体験活動
職場で…ロータスクーポン収集、共同募金
海外で…救援募金、人材派遣、古切手収集



●ボランティアセンターでは福祉関係機材の貸し出しも行なっています。ご利用ください。

滋賀県ボランティアセンター

草津市笠山7-8-138 県立長寿社会福祉センター内

TEL.077-567-3924



社会福祉
法人 滋賀県社会福祉協議会
滋賀県ボランティアセンター

町で視覚障害者に出会ったとき

視覚障害者は、病気や事故によって大切な視覚に障害を受け、外出や買物など日常の生活に非常に不自由されています。

町かどなどで白い杖で歩行されている方を見かけたときは、注意して見守ってあげて下さい。

そして、困っておられるようでしたら、どうか勇気を出して声をかけてあげて下さい。



ガイドヘルプ活動は、目の見える人の手引きにより、視覚障害者が社会参加をしていくことを援助するボランティア活動です。

この活動により、視覚障害者が、いつでも、どこでも出かけられ、社会とのコミュニケーションを豊富にすることができます。

あなたも、視覚障害者のよきパートナーとしてガイドヘルプ活動を始めませんか。

●ガイドヘルプ活動についてのお問合せは…

社会福祉法人 **滋賀県視覚障害者福祉協会**
彦根市松原1-12-17 TEL.0749-24-7238

このようなことに注意しましょう

- ① 必ず声をかけ、介助が必要かどうかを確かめて下さい。
- ② 曲りかどや段差、でこぼこ道など路面に変化がある場所では、必ず事前に知らせましょう。
- ③ 手引きするときは、二人分の幅をとっていることを忘れず、余裕を持ちましょう。
- ④ 常に適切な情報を提供しましょう。
 - 左右を間違えないようにしましょう。
 - 「あれ」「そこ」などのあいまいな言葉ではなく、的確な言葉で表現しましょう。
 - 「きれいな花が咲いています」など、周りの状況を説明し、楽しい手引きをしましょう。
- ⑤ 離れるときは必ずその旨を伝え、柱や壁など触れる物のあるところで待ってもらうようにしましょう。
- ⑥ 手引き以外は、できるだけ本人に任せましょう。

手引きの基本

視覚障害者が安心して歩けるようにすることが大切です。

手引きは、通常右の上腕部を持ってもらい、常に前方左側を歩きます。



狭いところでは

肩や背中を持ってもらい、1列になって通ります。



階段や段差では

手前で立ち止まり、階段の上り下りや段差があることを知らせ、段差に対して直角に入るようにします。

階段が終わったときも知らせて下さい。

てすりがある場合は、触ってもらうようにします。



イスに座るときは

イスの背に手を触れてもらうようにします。座敷のときは、向きを教えて座ってもらいます。



車等に乗るときは

車のドアまたはバス、電車等の手すりに手を触れてもらうようにします。



食事のときは

視覚障害者から見て、時計の文字盤の位置で何があるのかを伝えて下さい。

置いてある物の位置は勝手に変えないようにして下さい。



手引きを終るときは

手引きのあと別れるときは、周りの状況や場所を説明し、視覚障害者が安心して次の行動に移れるようにして下さい。

